

ルルマップ自然公園ふれらんどパークゴルフ場の新たな活用に向けた
企業等の皆様との「対話」の結果について
～サウンディング型市場調査の結果～

●サウンディング型市場調査の実施について

令和6年2月9日(金) 公表

令和6年3月21日(木)～27日(水) 対話の実施

●サウンディング型市場調査の結果概要

(1)提案団体数 5団体

(2)提案内容

<現状分析>

- ・パークゴルフは、利用者の高齢化やスポーツメーカーの撤退など、今後の利用者の確保は困難であり、パークゴルフ場は他の施設へ転用が必要。
- ・墓園に隣接していることから景観に配慮が必要。
- ・周辺にキャンプ場が増加していることから、持続可能な事業展開が必要。

<今後の方向性への意見>

- ・墓園に隣接していることから、景観に配慮した施設レイアウトや配置転換の検討が必要。
- ・キャンプ場のみで事業性を確保することは困難であり、温浴施設などのキャンプ利用者以外が利用できる集客施設の設置が必要。
- ・当該公園の一部をキャンプ場へ転用することは集客に有効であるが、転用面積については検討が必要である。
- ・フォレストアドベンチャーとの相乗効果を考慮したキャンプ場の配置検討が必要。
- ・キャンプ場に子どもの遊び場(遊具)を設置することで、ファミリー層を取り込むことができる。この場合、遊具はキャンプ場から目の届く範囲に設置する必要がある。また、ファミリー層を取り込むのであれば、温浴施設の設置は必須。
- ・近年、犬を連れてくるキャンプ場利用者が多いため、ドッグラン施設を設けることが有効。
- ・当該公園にサッカー場などの運動施設を導入し、合宿誘客による集客効果を見込むことが有効。
- ・第四墓園の利活用について、墓園に隣接していることから集客施設利用は難しい。
- ・民設民営では投資回収は難しく、公設民営により、初期投資コストの低減と運用開始後のより良いサービス提供につながるが見込まれる。
- ・設計の段階で、民間事業者が携わることで、運営を見越した施設設計となり、費用対効果及び効率的な維持管理が期待できる。

●今後について

本調査により、当該地は、空港や札幌から近いという立地の優位性は高いが、墓園との景観を配慮した施設整備が必要との意見であった。また、施設整備にあたっては、設計段階から民間事業者が参加し、公設民営手法であれば、集客・収益性の確保が可能との意見を確認することができました。

これらの意見を踏まえて条件を整理・設定したうえで、公募による事業者選定の実施に向けた事務手続等を検討します。